


インフルエンザ

Q9 インフルエンザにかかったら、透析してもらえないのでしょうか？

A9 そんなことはありません。高熱などのために体の老廃物が普段より多くなるので、むしろしっかり透析をしましょう。ただ、いつも通りに透析ができる、とは限りません。

透析は、ひと部屋で一度に多くの方が受けていることが多いので、ほかの患者さんにうつさないようにする必要があります。そこでまず、

- ① 咳エチケット（)として入室時に手洗いをし、マスクをしましょう。
- ② もし、個室透析が可能なら部屋を分けます。それが無理なら隣の人とのベッドの間隔を開けたり、ついたてを立てたりして、咳で飛び出す唾液や鼻汁（飛沫）が直接ほかの方にかからないようにします（空間的隔離といいます）。
- ③ 透析の時間をずらして、ロビーやロッカーなどの共有スペースを使う時間を分けたり、透析自体を昼間や深夜など、ほかの方が透析をしていない時間に行う方法もあります（時間的隔離といいます）。

この②③については、かかりつけの施設の指示に従ってください。また、日本透析医学会のホームページに、学習用のPDFがありますので、ぜひご覧ください。

今年（2009年）の新型インフルエンザ（A/H1N1 ブタ由来）の場合、厚生労働省からの通達で基本的に季節性インフルエンザと同じ対応をすることが6月19日に決まりました。しかし、もしこのウイルスが変異したり、鳥インフルエンザのような毒性の強い「新型インフルエンザ」が発生した場合には、感染対策は変わります。流行が起こる前の「国内発生早期」には感染の封じ込めをします。その場合、お住まいの地域の感染症指定医療機関に受診して新型インフルエンザを治療し、そこで透析も受けます。ほかの人に広めないためです。

「かからないこと」が一番重要です。しかし、かかってしまったら…その際はご協力ください。

（大藪英一／信英会 越谷大袋クリニック・医師）